

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線42354  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成27年3月25日

|                                  |  |   |            |    |
|----------------------------------|--|---|------------|----|
| リコール届出番号                         | 外-2162   | リコール開始日   | 平成27年3月25日 |    |
| 届出者の氏名又は名称                       | フォルクスワーゲングループ<br>ジャパン株式会社<br><br>代表取締役社長 庄司 茂  | 制作国：ドイツ連邦共和国<br>制作者名：フォルクスワーゲン株式会社<br><br>問い合わせ先：フォルクスワーゲン カスタマーセンター<br>(フリーダイヤル)0120-993-199<br>(アドレス) <a href="http://www.volkswagen.co.jp/">http://www.volkswagen.co.jp/</a> |            |    |
| 不具合の部位（部品名）                      | ①燃料装置（燃料パイプ及びインジェクタ） ②冷却装置（サーモスタット）  |   |            |    |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | ①燃料装置において、燃料パイプとインジェクタ構成部品の製造時の公差により、燃料パイプとインジェクタを適正に取り付けられないものがある。そのため、使用過程において取付部に隙間が生じて燃料が漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。<br><br>②サーモスタットの内部部品の材質が不適切なため、使用過程において腐食するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、腐食が進行し、最悪の場合、サーモスタットが開かなくなり、冷却水が冷却されず、オーバーヒートになるおそれがある。 |   |            |    |
| 改善措置の内容                          | ①全車両、燃料パイプ及びインジェクタのスペーサーリングを対策品に交換し、インジェクタのOリング及びサポートエレメントを新品に交換する。<br><br>②全車両、サーモスタットを対策品に交換する。  |   |            |    |
| 不具合件数                            | ①0件 ②0件  |   | 事故の有無      | なし |
| 発見の動機                            | ドイツ本社からの情報による  |   |            |    |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置    | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車使用者：ダイレクトメール、電話および電子メール等で通知する。</li> <li>自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>対策実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-2162ステッカーを貼付する。</li> </ul>   |   |            |    |

| 車名        | 型式         | 通称名                         | リコール対象車の車台番号<br>(シリアル番号)の範囲及び輸入期間                           | リコール対象車の台数 | 備考 |
|-----------|------------|-----------------------------|---|------------|----|
| フォルクスワーゲン | DAA-7PCGEA | 「VW トゥアレグ V6<br>3.0 Hybrid」 | WVGZZZ7PZBD045543～WVGZZZ7PZCD044777<br>平成23年6月16日～平成24年4月9日 | 298        | ①② |
|           | 計1型式       | 計1車種                        | (輸入期間の全体の範囲)<br>平成23年6月16日～平成24年4月9日                        | (計298台)    |    |

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。